

2023年度 第三回技術委員会 (合同委員会)

2023年10月4日 (水)

ハイブリッド開催



主な内容

1. 2023年度技術委員会メンバー
2. 申請状況について
3. WG活動報告
6. その他

技術委員会メンバー

登録会社62社104+ α 名

株式会社オクト
光明理化学工業株式会社
株式会社JCVケンウッド
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
根本特殊化学 株式会社
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測
アイグッツ株式会社
あすまる株式会社(議事録担当)
エスケイジャパン株式会社(次回:議事録担当)
MIクリエイションズ株式会社

NCY株式会社
株式会社エフェクト
株式会社オウルテック
株式会社オクト
株式会社オムニ
株式会社キングジム
株式会社グロックス
株式会社コムテック
株式会社コンテック
SANKEIプランニング株式会社
鈴与シンワート株式会社
SEIKOIST株式会社
センスエアエービー
(旭化成エレクトロニクス株式会社)
大自工業株式会社
株式会社天時情報システム
株式会社東京企画
株式会社東計電算
株式会社ドウシシャ
トライポッドワークス株式会社
株式会社ドリテック

日本鋭明技術株式会社
株式会社藤田電機製作所
株式会社ユアーショップ
株式会社ユビテック
株式会社ライノプロダクツ
株式会社レッツ・コーポレーション
新東工業株式会社
株式会社SREE
小林薬品株式会社
有限会社ドリームチーム
株式会社イズムシステムインテグレータ
TML株式会社
NHPソリューション株式会社
株式会社セイワ
株式会社ミツバサンコーワ
株式会社SGST
株式会社ファーストシステム
株式会社カスタム
アイリスオーヤマ株式会社
株式会社高昇
エレコム株式会社
Dahua Technology Japan合同会社

(2023/6/16 現在)

今期の取り組みについて

- 外部検定の運用対応
- JB20規格運用に向けた対応
- 義歯安定剤連絡会との対応
- アルコールガスのトレーサビリティ調査
(ドライーウェットガスの相関関係等)

2021年度～2023年度の活動計画

項目	活動内容	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定合格品有効期限																
②外部検定	JB10000検定運用																
	JB10001維持審査																
③規格WG活動	JB20001規格策定																
	ISO/TC272対応									⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
	CERIとの運用協議																
	CERIの設備整備																
	プレテスト																
	JB20001検定運用									⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
④ガスWG活動	Dry-WetGas相関評価/評価機関調査等									⊗	⊗	⊗	⊗				
	Wet試料液検討評価(ReCCS)									⊗	⊗	⊗	⊗				
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応									⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応																

■ 作業完了 ■ 作業予定
⊗ 作業追加 ⊗ 未実施

2023年度活動スケジュール

2023年度技術委員会開催予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/14 第八回定期総会 (Web開催) 第一回			●7月5日 (Web開催) 第二回			●10月4日 (ハイブリッド開催) 第三回				●2月13日 第四回	

●規格WG

- 4/26 第一回
- 5/18 CERI打合せ
- 6/2 CERI打合せ
- 6/19 第二回
- 7/21 第三回

●ガスWG

随時実施

●義歯安定剤WG

- 7/21 第一回
- 9/4 義歯安定剤連絡会とのWeb打合せ

2023年度外部検定運用

2022年7月1日より新方式での検定運用開始

変更内容: 検定審査会での書類審査を外部機関(CERI様)へ移行

2023年4月以降の申請状況

4月～6月: 新規 7

維持 12

新⑥～⑧班

特班: 同一機種申請 3

7月以降の申請状況

7月: 新規 4 維持 0

8月: 新規 2 維持 3 同一 2

9月: 新規 1 維持 0 OEM 1

新班 ⑨～⑪班 特別審査班

間もなく1周りしますが、今後とも検定審査会(班)の対応宜しくお願いいたします。

検定審査会グループ

登録会社47社

12グループを予定 申請会社以外に割り振る

①新コスモス電機株式会社(リーダー)

①アイグッツ株式会社

①株式会社アサヒ企画

①あすまる株式会社

②ドレーゲルジャパン株式会社(リーダー)

②MIクリエーションズ株式会社

②エスケイジャパン株式会社

②NCY株式会社

③株式会社パイ・アール(リーダー)

③株式会社エフェクト

③株式会社オウルテック

③株式会社オムニ

④株式会社タニタ(リーダー)

④株式会社キングジム

④株式会社グロックス

④株式会社コムテック

⑤フィガロ技研株式会社(リーダー)

⑤株式会社コンテック

⑤SANKEIプランニング株式会社

⑤株式会社サンクラウド

⑥中央自動車工業株式会社(リーダー)

⑥鈴与シンワート株式会社

⑥SEIKOIST株式会社

⑥センスエアエービー

(旭化成エレクトロニクス株式会社)

検定審査会グループ

登録会社44社

12グループを予定 申請会社以外に割り振る

⑦前野技研工業株式会社(リーダー)

⑦大自工業株式会社

⑦株式会社天時情報システム

⑦株式会社東京企画

⑧株式会社パーマンコーポレーション(リーダー)

⑧株式会社東計電算

⑧株式会社ドウシシャ

⑨東海電子株式会社(リーダー)

⑨トライポッドワークス株式会社

⑨株式会社ドリテック

⑩株式会社東洋マーク製作所(リーダー)

⑩日本鋭明技術株式会社

⑩株式会社藤田電機製作所

⑪株式会社JVCケンウッド(リーダー)

⑪株式会社ユアーショップ

⑪株式会社ユビテック

⑫株式会社オクト(リーダー)

⑫株式会社ライノプロダクツ

⑫株式会社レッツ・コーポレーション

OEM申請、同一機種申請、仕様変更届対応
特別検定審査班

○光明理化学工業株式会社

○NISSHAエフアイエス株式会社

○根本特殊化学 株式会社

○株式会社ヤナコ計測

申請方法の確認・変更について

審査時の注意事項

- ・最終出荷場所について

最終出荷場所が複数箇所ある場合は様式2. の1. 当該機器の製造の【最終試験(出荷)場所】に全て記載し、その関連性を明記する。なお、**必ず住所を記載願います。**

この明記事項により【最終試験(出荷)場所】が複数ありとなった場合は**すべての場所がサイト監査の対象となる。**

- ・取扱説明書について

新規申請: 外部機関の書類審査時に指摘を受け修正を行った場合、**現地(サイト)監査までに改版する。**

申請方法の確認・変更について

審査時の注意事項

- ・各申請、監査、試験の不合格後に関して
現在、上記不合格になった後、外部機関様へ長期間連絡がない企業様が数社おられます。
長期連絡がない状態が続きますと、協会側の台帳と外部機関様の進捗管理が合致しないなどのケースが生じ始めております。
「連絡が2ヶ月ない場合は、中断通知とともに一旦審査等を中断処理し、再開する際には技術委員長まで再開の申請を行う」
7月に最終リマインドを会員企業様に行いました。
引き続き、**最低1回/月**に外部機関様(三浦CC)へ連絡すること。
今後はリマインドなく、審査などの中断の連絡を入れます。

申請方法の確認・変更について

審査時の注意事項

- ・様式2. ○呼気アルコール検知器 販売ガイドラインに関する規定 No.10 測定範囲(0.000の定義、マスクング範囲)について説明しているか。

本項目に関して、取り扱い説明書に明確に記載されておらず、外部機関様の書類審査合格後、現地(サイト)監査時、もしくは実機試験時に発覚する事例が起っております。

前回の委員会時に報告いたしました。9月以降は、

即座に監査、試験中止とし、書類審査不合格の処理とし、再審査をご希望される場合は、書類審査からの対応になります。

申請方法の確認・変更について

審査時の注意事項

・様式2. ○品質保証体制について

No.3 監視機器及び測定機器の管理

(検定制度:2.3.3 監視機器及び測定機器の管理)

本項目に関して、検定制度には「出荷検査に関連する機器や材料の能力条件書を策定しなければならない。」となっております。

検査ガスの点検手順書とは、検査するガスの濃度を確認する手法を手順化したものであり、本当にその濃度なのか確認(=点検)する必要がある。それがなければこのガスが本当にその濃度なのか確認できないので、NGとなる。(=基準器等を介して確認することが必要)

市販品のエタノール溶液使用ならばOK。

(尚、そのメーカー資料の確認は不要)

申請方法の確認・変更について

審査費用改定に関して、

2023年3月に外部機関であるCERI様より審査・監査・試験費用の改定の連絡がありました。

理由等に正当性が見られましたので、本件を受け入れることが幹事会にて決定いたしました。

【改定内容】 改定時期 **2024年1月** 申請分より

・料金変更前

1年目 初回審査 27.5万円
2年目 維持審査(現地)11万円
3年目 維持審査(現地)11万円
4年目 維持審査(現地)11万円
5年目 更新審査(現地)11万円
5年合計 71.5万円

・料金変更後

1年目 初回審査 32.5万円
2年目 維持審査(現地)11.5万円
3年目 維持審査(現地)11.5万円
4年目 維持審査(現地)11.5万円
5年目 維持審査(現地)11.5万円
5年合計 78.5万円

申請方法の確認・変更について

ロゴマークと認定番号の使用開始に関して、

- ・ 認定番号の使用開始は現行、技術委員長(三浦)からのメールにより使用開始としている。

【メール例】

会社名「〇〇〇〇株式会社」様

製品名「●●●●」

型名「△△△△」

【認定番号】 JB10002-□□

【技術規格番号】 JB10002-2022

にて認定番号を発布いたします。

これより事務局様へ合格認定証の発行、送付を依頼します。

お手元に届くまで1週間程度かかる場合がありますがご了承願います。

尚、本日より認定番号の使用を許可いたします。

また、協議会ホームページへの掲載対応を進めてください。

申請方法の確認・変更について

更新審査に関して、
来年度より、更新審査が始まります。
更新審査は基本新規審査と同様の手順となります。
費用に関しても新規審査と同額になります。
更新審査を行わない場合はJBマークの使用権原を失います。
JBマークの使用権原失効は、更新期限から半年とします。
現在上記内容を「検定制度」および「外部検定（JB10002）の申請から認証までの流れ」に記載準備中です。
書類更新時にはホームページでお知らせいたします。

規格WGについて

○ JB10整備、英文化およびJB20, JIS等対応

参加表明メンバー

旭化成エレクトロニクス: 吉田様、清山様

光明: 畑様(リーダー)

タニタ: 金成様

東海電子: 杉本様、高木様、植松様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

根本特殊化学: 三浦

フィガロ技研: 河口様

ヤナコ計測: 上西様

規格WGについて

2023年度第二回技術委員会にて
今後について

- JB20001 ・ 2023年度夏運用開始への対応
(CERI様からの最終見積入手、規格文書見直し(規格WG実施))
CERI様より今年度中に開始希望有(更新審査を避けるため)
(但し、5月・11月は業務多忙により不可)

→ 上記終了時点で、一旦本WGを終了する。以下は、別途WGを
立ち上げ対応とする。

- JB10001 ・ NDIR仕様に対する規格対応
(但し試験見積書については、近日CERI様より提示予定)
- JB20001 ・ 電気妨害の試験のCERI様での一括試験検討
- ISO化 ・ 他機関の調査検討

規格WGについて

○JB20について

前回(6月19日 第2回規格WG)にて報告

・報告書案について(JB20001_報告書案 20210324(最終)(23.01.20修正))の修正

→ JB20本文も含め、再度文書を読み合わせながら修正を実施

・7月21日 第3回規格WG実施

最終文書作成終了。→ CERI様に送付

下記3点についてCERI様に合わせて問合せ

1. 温度試験トライアルによる、基準器の温度によるゼロ点測定

温度試験時における指示差の検証

2. 干渉ガス試験について、エタノール0.15mg/Lが存在する中で、各干渉ガスを通気する試験ができるか(特に水に溶けるアセトンの件)。

3. イミュニティー試験について、CERI様が依頼する試験機関で、同試験中の連続動画撮影は可能か。

規格WGについて

JB20について(続き)

・ 7月25日 CERI様より回答

1. J-BACより、ガス温度が低いことによる基準器指示値への影響はほぼない、チューブの長さによる大きな影響はないと回答。

ゼロガスをウェットガスで取る方法を提案

→ CERI様: 結露等による「チューブ+バッグ」での濃度低下が一番疑わしいという印象。

ゼロガスの変更はJB10の方にも影響があるため別途議論が必要と考える。

→ 本件基準器提供のヤナコ計測様から音頭を取って進める提案があり(現在進行中)。

規格WGについて

JB20について(続き)

- 7月25日 CERI様より回答

2. 通常ボンベ空気で、エタノール0.15mg/L発生できるように調整後、ボンベ(空気)を干渉ガス用ボンベに代えてバブリングする予定。アセトンについて、水への溶解性は高いと思われませんがJB10でもバブリングする試験で実施。

この話題が再度出たため、純水のシミュレーターにアセトン通気し、出口のアセトン濃度を検知管で測定してから議論するのが良い。

→ CERI様、規格WGメンバーと議論し、光明理化学社製アセトン検知管にてトライアルを実施することとなった。

→ 9月25日に試験計画が送付された。試験は今月頃実施予定。

試験内容: 流量5, 12, 20L/min、ブランク時and0.15mg/Lエタノール時のアセトン測定を実施

規格WGについて

JB20について(続き)

・ 7月25日 CERI様より回答

3. イミュニティー試験について、

沖エンジニアリング様より、動画撮影は対応していないとの回答。

JQA様より、動画撮影は対応範囲では可能。但し費用が

沖エンジニアリング様と比較して差は約+30万円。

→ 沖エンジニアリング様については、その後三浦委員長の訪問
打ち合わせにより、対応可能との回答

これより、JB20申請機器が

○既に電氣的妨害試験をパスしている場合→合格証により本規格は合格

○これから取得する場合→ガス試験：CERI様

電氣的妨害試験：JQA様or沖エンジニアリング様

その際、CERI様に全てお願いするか、ガス試験のみかは選択可。

規格WGについて

今後について

- JB20001
 - 2023年度夏運用開始 → 2024年4月前には運用開始へ
 - JB10更新審査、維持審査との重なりを避けるため
(但し、5月・11月は業務多忙により不可)・・・12月or1月？を目標
 - CERI様からの最終見積入手
 - 懸案事項解消
・・・規格WG残務
- 終了後解散へ。以下は別途WG立ち上げ対応

○JB10001 ▪ NDIR仕様に対する規格対応

○JB20001 ▪ 電気妨害の試験のCERI様での一括試験検討

○ISO化 ▪ 他機関の調査検討

アルコールガスのトレーサビリティ調査

○ ドライボンベガスとシミュレーター(ウェットガス)の相関関係調査

参加メンバー

光明理化学: 畑様

タニタ: 金成様

東海電子: 杉本様、高木様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

根本特殊化学: 三浦

ヤナコ計測: 上西様(リーダー → 本年度から暫定で三浦へ変更)

旭化成エレクトロニクス: 吉田様、清山様

【課題事項】

- ・ウェットガスとドライガスの相関の確認方法の検討
- ・試験実施に向け試験を行っていただける企業の募集
- ・試験対応の為ドライガスの提供方法の検討

改めて、本試験にご参加していただける企業様を募りますので、その際は是非ともご協力願います。

義歯安定剤WGの活動

○ 義歯安定剤連絡会との対応など

参加メンバー

光明理化学：畑様 中央自動車工業：高橋様
NISSHAエフアイエス：常深様、柳谷様
フィガロ技研：河口様(リーダー)
株式会社 ネモト・センサエンジニアリング：三浦

義歯安定剤連絡会の技術委員長に新しく就任された小林製薬株式会社の倉光様より連絡がり、9月4日(月)にWeb会議実施
連絡会よりライオン株式会社(奥村様、石黒様)、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社(藤井様、中谷様)、小林製薬株式会社(倉光様)
J-Bacより WGメンバー、幹事会 出席

義歯安定剤WGの活動

○ 義歯安定剤連絡会との対応など

義歯安定剤連絡会の倉光様より状況の説明、および現在出されている論文についての説明。

論文1. 「アルコール含有義歯安定剤であるホームリライナーが呼気中」
アルコール濃度へ与える影響の評価」

著者:市川 哲雄(徳島大学)

論文2. 「リライナータイプの義歯用接着剤からのエチルアルコール溶出が呼気アルコール濃度および飲酒運転の判定に及ぼす潜在的影響」

著者:村田 寛(長崎大学)

基本的には、連絡会側の対応事項がメインとなるため、J-Bacとしては今後も連絡会の状況を逐次確認。

その他

- 問い合わせ事項の対応は随時実施中
業務委員会 Web/IT班と連携
申請に関する対応(ワークフロー作成)を検討中
- 認定品の調査検討
業務委員会 調査班と連携
認定品が正しく販売されているか調査対象を検討
来年度以降の更新審査に対する対応を検討
- 質疑応答

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用の監視
2. JB10002 JB20001の対応
3. アルコールガスのトレーサビリティ調査の推進
4. 業務委員会様と連携
5. 2024年度以降の活動計画立案
6. その他HP等からの技術的相談対応

まとめ

2023年12月より検知器での白ナンバーの検査義務が始まります。

更に認定品の期待が高まっております。

認定品にて誤動作などの問題が頻発いたしますと、認定品としての社会的認知度に問題が生じます。

今後も皆様のご協力宜しくお願いいたします。